

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第5条の規定に基づき、次のとおり  
公告します。

平成23年5月9日

京都市長 門川 大作

## 1 競争入札に付する事項

### (1) 委託件名

京都市特定建築物耐震診断業務委託（1）

ただし、京都市山科青少年活動センターほか7件の耐震診断及び概略補強設計

### (2) 履行場所（対象）

京都市山科区竹鼻四丁野町42番地他

### (3) 業務概要

建築基準法等の耐震規定改正以前（昭和56年5月31日以前）に建てられた非木  
造（鉄筋コンクリート造等）の市有建築物等の耐震診断及び耐震化に伴う概略補強設  
計業務委託

対象施設名称及び所在地は次のとおり。

#### ア 京都市山科青少年活動センター

京都市山科区竹鼻四丁野町42番地

#### イ 京都市中央斎場分場

京都市北区北山蓮ヶ谷町2番地1

#### ウ 京都市埋蔵文化財伏見収蔵施設

京都市伏見区深草泓の壺町14番地の4

#### エ 京都市元勸修公設小売市場

京都市山科区勸修寺西栗栖野町225番地

#### オ 京都市計量検査所

京都市右京区太秦京ノ道町13番地の2

#### カ 京都市計量検査所 会議室

京都市右京区太秦京ノ道町13番地の2

#### キ 京都市洛南排水機場

京都市伏見区横大路千両松町41番地

ク 京都市小栗栖排水機場

京都市伏見区石田川向町5 1 番地の1

(4) 履行期間

契約の日から7箇月以内

(5) 支払条件

前金払は請負代金の3割を超えない範囲内で支払うこととし、部分払はなしとする。

2 本件入札に関する問合せ先

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市行財政局財政部契約課工事契約担当

(電話075-222-3313)

3 入札参加資格に関する事項

本件入札の一般競争入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）を提出する日において、現に京都市契約事務規則（以下「規則」という。）第4条第1項に規定する一般競争入札有資格者名簿に登載されている者であつて、同日（(2)にあつては、公告の日から開札の日までの間）において、次に掲げる全ての条件を満たす者

(1) 本市内に本店を有すること。

(2) 「競争入札参加有資格者名簿（測量・設計等）」の建築設計種目に登録されていること。

(3) 一級建築士の免許を取得している者を管理技術者として配置し得ること。

なお、配置予定の技術者については、次に掲げるすべての条件を満たす者とする。

ア 常勤の自社社員であり、かつ開札日において、引き続き3箇月以上の雇用関係があること。

イ 耐震診断に関する次の講習会のいずれかを受講し修了していること。

(ア) 社団法人文教施設協会が主催する次のa～cのいずれかに該当するもの。

a 「既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造（屋内運動場等）学校建物の耐震診断・耐震補強設計講習会」（平成13年12月）

b 「既存鉄筋コンクリート造（2001年改訂版）・鉄骨造（屋内運動場等）学校建物の耐震診断・耐震補強設計講習会」

- c 「既存鉄筋コンクリート造（２００１年改訂版）学校建物の耐震診断・耐震補強設計講習会」
  - (イ) 財団法人日本建築防災協会が主催する「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針（２００１年改訂版）講習会」
- (4) 平成８年度以降に、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第６条第１号に規定する特定建築物（ただし、非木造に限る。）を対象とし、次に掲げるすべての条件を満たす業務を元請として受注し、履行した実績を有すること。
- ア 「耐震診断業務」又は「耐震改修計画作成業務」
  - イ 同法第４条第２項第３号に規定する「建築物耐震診断等判定」又は同法第８条第３項の規定に基づく「認定通知」を取得した「耐震診断業務」
- (5) 京都市競争入札等取扱要綱（以下「要綱」という。）第２９条第１項の規定に基づく競争入札参加停止措置を受けていないこと。
- (6) 関係会社の参加制限
- 本件入札に参加しようとする者で、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの一者しか参加できない。
- ア 資本関係
- 以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第２条第３号及び会社法施行規則第３条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第２条第７項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法第２条第４号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。
- (ア) 親会社（会社法第２条第４号及び会社法施行規則第３条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合
  - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
- イ 人的関係
- 以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第２条第４号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。
- (ア) 一方の会社の役員が他方の会社の役員を現に兼ねている場合
  - (イ) 一方の会社の役員が他方の会社の会社更生法第６７条第１項又は民事再生法第６４条第２項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

#### 4 入札方法等

(1) 本件入札は、京都市電子入札システムにより行う。

京都市電子入札システムによる入札は、次のア又はイのいずれかの方法による。

ア 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード（本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一人のもの又は受任者がいる場合には受任者のもので、かつ落札決定の日時までの間において有効であるものに限る。）を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信する方法（以下この方法により入札する者を「インターネット利用者」という。）

なお、インターネット利用者は入札データを送信しようとする日までに京都市電子入札システムへの利用者登録を行っていないなければならない。

イ 入札端末機利用者カード（規則第6条第4項に規定する入札端末機利用者カードをいう。）の交付を受けている者が、京都市行財政局財政部契約課（以下「契約課」という。）に設置する入札端末機（規則第6条第2項に規定する入札端末機をいう。以下同じ。）を使用することにより入札データを送信する方法（以下この方法により入札するものを「端末機利用者」という。）

なお、端末機利用者が入札端末機利用者カードの発行を受けていないときは、入札期間終了の1時間前までに入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受けていないなければならない。

(2) 本件入札に参加しようとする者は、公告の日から入札期間初日の直前の開庁日の午後5時まで、次のア又はイの方法により、当該委託に係る設計図書等を入手し、積算のうえ、(6)に記載する入札期間に入札を行うこと。

ア インターネット利用者は、京都市電子入札システムにより、インターネットを利用して設計図書等をダウンロードすることにより入手する（この場合、設計図書等を入手しようとする日までに、京都市電子入札システムへの登録を行っていないなければならない。）。

なお、インターネット利用者であっても設計図書等を購入することができるものとするが、この場合、インターネットを利用して複写承認書を入手のうえ、

(3)により設計図書等を購入すること。

イ 端末機利用者は、契約課に設置する入札端末機により、複写承認書を入手（この場合、複写承認書を入手できる期間終了の1時間前までに、入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受けていなければならない。）のうえ、(3)により設計図書等を購入すること。

- (3) 上記(2)ア後段及び(2)イにより当該委託に係る設計図書等を購入しようとする者は、前項で入手した複写承認書を、上記(2)の期間内に次の設計図書等の販売業者に提示して購入すること。

（設計図書等の販売業者）

株式会社吉川測器

京都市上京区東堀川通下長者町下る3丁目5-1（電話075-451-5220）

想定販売金額 720円（A4コピー 48枚）

- (4) 落札価格は、入札金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入力すること。
- (5) 入札者は、送信した入札データの訂正又は撤回をすることはできない。また、入札者は、入札データ送信後の辞退はできない。

- (6) 入札期間

平成23年5月23日（月）、24日（火）及び25日（水）の午前9時から午後5時まで。ただし、端末機利用者は正午から午後1時までを除く。

- (7) 予定価格

本件の入札に係る予定価格は、次のとおりである。

予定価格 16,060,000円（消費税及び地方消費税を含まない。）

- (8) 入札参加資格確認申請書の提出

入札に参加しようとする者は、下記の書類を(10)に記載の方法により提出しなければならない。

なお、必要書類の作成に係る費用は申請者の負担とし、提出された書類は返却しないが、本市において無断で使用しないものとする。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書（用紙交付）

イ 技術者配置予定調書（用紙交付）

3(3)の技術者を記載し、「一級建築士免許証」の写し、雇用関係を証明し得る書類（健康保険証等）の写し及び耐震診断に関する講習会の修了を証明する書類の写しを添付すること。

ウ 履行実績調書（用紙交付）

3(4)に示す履行実績を記載し、それを証明し得る契約書、仕様書等の写しを添付すること。

(9) 入札参加資格確認申請書の交付

本件入札の公告の日から入札期間終了まで、契約課のホームページ（ホームページのアドレス <http://www.city.kyoto.jp/rizai/chodo/>）及び契約課に設置する公告閲覧専用端末機に入札公告と併せて入札参加資格確認申請書を掲示するので、契約課のホームページ又は契約課に設置する公告閲覧専用端末機から当該申請書等をダウンロードのうえ、A4判の帳票として印刷し使用すること。ただし、公告閲覧専用端末機による交付期間及び交付時間は、京都市の休日を定める条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除き、午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）とする。

(10) 入札参加資格確認申請書は次の方法により提出すること。

ア インターネット利用者の場合

入札データを送信する際、ワード、エクセル（Office2003で扱えること。）又はPDFファイル（Adobe Reader7.0で扱えること。）にして添付すること。

イ 端末機利用者の場合

入札参加資格確認申請書を封入、封かんし、封筒表面には入札番号、委託件名及び履行場所のみを記載して、入札期間内に2の場所に設置してある「入札資料提出ポスト」に投函すること。

5 開札及び落札者の決定

(1) 開札予定日時

平成23年5月26日（木）午前9時00分

(2) 入札参加資格の確認

開札後、予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者について、入札参加資格の確認を行う。確認を行った結果、入札参加資格がないと認められると

きは、その者の行った入札は無効とし、予定価格の範囲内で有効な入札を行った他の者のうち、次に最低の価格をもって入札を行った者について、入札参加資格の確認を行う。

なお、予定価格の範囲内で有効な入札を行った者のうち、入札金額が同額の者が二者以上あるときは、開札時に抽選により入札参加資格の確認を行う順位を決定する。

(3) 落札者の決定

予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者のうち、入札参加資格を有すると認められた者を落札者とする。

(4) 入札参加資格の取消し等

入札参加資格を確認する前に、入札者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、その者の入札参加資格は認めない。また、入札参加資格の確認後、落札決定までの間に、入札者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、その者の入札参加資格を取り消す。

ア 規則第2条第1項の規定により定めた一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ 3に規定する本件入札に参加する者に必要な資格を喪失したとき。

ウ 要綱第29条第1項の規定により定めた競争入札参加停止措置を受けたとき。

エ その他市長が特に入札参加資格を有することが不適當であると認められたとき。

(5) 落札結果の公表

落札者を決定したときは、落札者に対して速やかに通知するとともに、落札者の商号（法人にあつては名称）及び落札金額等を、落札者を決定した日の翌開庁日の午後1時から契約課のホームページにおいて公表し、併せて2の場所で閲覧に供する。

なお、開札日に落札者を決定しないときは、全ての入札者の商号（法人にあつては名称）及び入札金額等を、開札日の翌開庁日の午後1時から落札結果の公表までの間、契約課のホームページにおいて公表し、併せて2の場所で閲覧に供する。

(6) 落札者以外の入札者に対する書面による理由説明

落札者以外の入札者は、落札者とならなかった理由について書面による説明を求める場合は、落札者を公表した日の翌日から起算して2日後（日数の計算に当たっては、休日を除く。）の午後5時までに、その旨を記載した書面を2の場所まで持参し、提出すること。

## 6 入札保証金及び契約保証金

### (1) 入札保証金

免除

### (2) 契約保証金

免除

## 7 入札の無効

規則第6条の2各号（第3号を除く。）に該当する入札は無効とする。

## 8 その他

(1) 本件入札は、政府調達に関する協定の適用を受けるものではない。

(2) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(3) 契約書作成の要否 要

(4) 本公告に関する問合せ先 2の問合せ先に同じ。

(5) 設計図書の内容に関する質問は受け付けない。

(6) 公正な競争を確保するため、本件入札において互いに競争相手であった落札者（以下「契約者」という。）と落札者以外の者（以下「非落札者」という。）とが次に掲げる事項を行うことを禁止する。

ア 契約者が、非落札者に本件業務を委託すること。

イ 非落札者が、契約者から本件業務を受託すること（契約者と直接契約を締結しない場合を含む。）。

(行財政局財政部契約課)